



Tokyo Tech

国立大学法人東京工業大学  
リベラルアーツ研究教育院  
〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1  
TEL : 03-5734-2107  
<http://educ.titech.ac.jp/ila/>  
2022年4月1日発行



リベラルアーツ研究教育院

Institute for Liberal Arts

東京工業大学  
Tokyo Institute of Technology

## 「大きな志を育てる」教養教育

リベラルアーツ研究教育院では、自らの“志”を高く掲げ、それを語り合い、共に学んでいきます。自分自身の人生を、自由に設計し、力強く歩んでいくための“知”を身につけていきます。



## リベラルアーツ、それは…

リベラルアーツ、それは「人間を自由にする技」

刹那の感情に囚われた行動や、嫌悪と蔑視の入り混じった偏見、  
一面的なものの見方から、人の心を解き放つ術 —————  
すべ

我欲・妄執という狭い心の檻からも

効率と結果のみを求める情報管理社会の縛目からも抜け出して  
自分自身で考える勇気と柔らかな心を育もう

人は何のために生きるのか？

世界が幸せになるために、どうしたらよいのか？

敵／味方、正解／誤答、役に立つ／立たないというように  
すべてを1か0かで切り分けるデジタル的思考では視えてこない  
境界領域に踏みとどまって、人や書物と対話を交わし、  
粘り強く考え方

少しでも高い認識の地平を目指し

螺旋をなす知の階梯を一步一步昇ってゆこう

リベラルアーツ研究教育院長 山崎太郎



赤羽 早苗（児童教育政策、ソーシャルエモーションナルーニング）  
赤間 啓之（計算神経言語学、脳科学認識論）  
安徳 万貴子（ドイツ近現代文学）  
安納 真理子（音楽学、能楽・能評）  
池上 彰（現代史）  
石川 国広（体験教育論、認知行動療法）  
石原 由貴（英語学、言語学）  
磯崎 一郎（文学）  
伊藤 亜紗（美学、現代美術史）  
猪原 健弘（意思決定、社会モーリング、合意形成、紛争解決）  
岩男 征樹（文化心理学）  
上田 紀行（文化人類学）  
榎原 実香（日本語教育、言語学、日本語学、統語論）  
岡田 佐織（高等教育、教育行政学）  
金子 宏道（法學、民事訴訟法）  
川名 晋史（国際政治、安全保障論）  
河村 彩（ロシア文化、近現代美術、表象文化論）  
木内 久美子（イギリス・アイルランド演劇）  
北川 依子（現代イギリス小説）  
北村 匠平（映画学、文化社会学、メディア論）  
木山 ロリンダ（比較文化、心理学）  
栗山 直子（認知心理学、教育心理学）  
毛塚 和宏（計量・教育社会学）  
小泉 勇人（シェイクスピア劇、英語・英作文教育）  
小谷 泰則（生理心理学、脳科学）  
小松 聰（異文化理解・育児心理学）  
佐久間 博弘（運動生化学、運動生理学）  
藤摩 龍郎（現代アーバン&文學）  
佐藤 礼子（日本語教育、第二言語習得）  
治部 丸んげ（ジェンダー、経営、政策、メディア）  
調 麻志（科学技術社会論）



山岸 俊紀（歴史学）  
山崎 太郎（独逸学、ドイツオッペラ）  
山根 亮一（アメリカ文学・文化論）  
眞嶋 俊造（倫理学、応用倫理学）  
山本 貴光（学術史、ゲーム学）  
山元 寛史（言語学）  
丸山 刚生（教育工学、教師教育）  
三ツ堀 広一郎（フランス文学）  
室田 真男（教育工学）  
柳瀬 博一（メディア論）

福留 真紀（歴史学）  
ヤクブ・ベクタス（技術史）  
眞嶋 俊造（倫理学、応用倫理学）  
松田 稔樹（教育工学、教師教育）  
丸山 刚生（バイオメカニクス）  
三ツ堀 広一郎（フランス文学）  
室田 真男（教育工学）  
柳瀬 博一（メディア論）



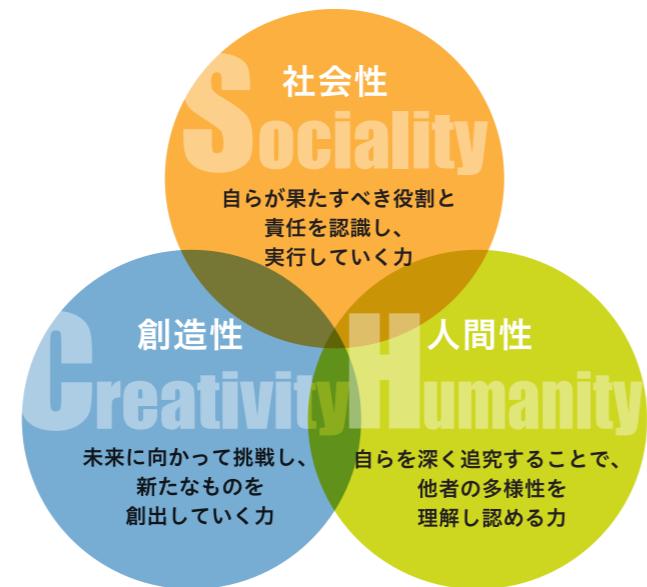
# 教養教育

Liberal Arts Education

理工系の専門知を社会へとつなぐ、幅広い教養を身につける

東工大では、入学1年目から博士後期課程まで、教養教育と専門教育の両方を途切れなく連動させ、その両方を織り交ぜて学び続ける「くさび型教育」を行っています。確かな専門性のベースとなる、高い見識、倫理観、自由な発想を育て、専門知識を社会につなげていく実践力を身につけていきます。それらを通して、人間性、社会性、創造性にあふれた人間の育成を目指します。

「志」ある東工大生の育成



# 学内外の組織との連携

文理共創に向けて、人文社会系の専門知を多様な領域に開く

人文社会系を中心に多様な分野で活躍する教員が、学内外の組織と連携して、教育、研究、社会貢献につながるプロジェクトに携わっています。



リーダーシップ教育院（ToTAL）は、修士課程・博士後期課程を一貫する教育体系のもと、専攻分野や文化的背景の異なる学生同士が切磋琢磨することで、文理融合など異分野間の一体的教育を実現し、国際社会を牽引できるリーダーシップ・人間力を涵養します。

## DLab

Laboratory for DEsign of  
Social Innovation in Global Networks



FUTURE OF  
HUMANITY  
RESEARCH CENTER

未来の人類研究センター  
東京工業大学 科学技術創成研究院 × リベラルアーツ研究教育院

未来社会DESIGN機構（DLab）は、「人々が望む未来社会とは何か」を、社会の一員として考え、デザインすることを目的として設置されました。予測可能な未来ではなく、ありたい未来を、企業や公的機関など学外の多様な人々と共に考える取組を行っています。

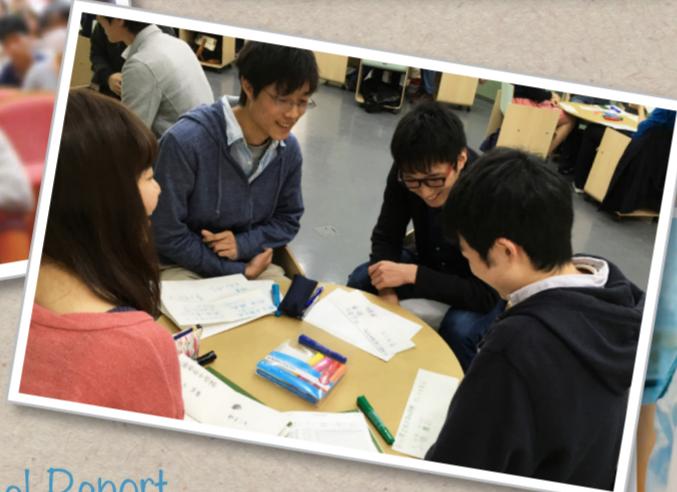
未来の人類研究センターは、科学技術創成研究院のなかに設置された、人文社会系の研究組織です。学内の理工系の研究者や国内外の多様な分野の専門家とも連携しながら、人類の未来について、そのるべき変化や守るべき価値について考え、発信しています。



QRコード左から、リーダーシップ教育院  
未来社会DESIGN機構、未来の人類研究センター

## 教養教育の科目

多様な開講科目を主体的に選択し、教養を身につけます



# Liberal Arts Education

Tokyo Tech Visionary Project

Liberal Arts Final Report

Leadership Workshop  
Independent Studies Courses

## 教養教育を貫く「教養コア学修科目」

年次に応じた科目で構成され、それらを積み重ねて学んでいきます

### 東工大立志プロジェクト

4年間の教養教育を、各自のゴールに向かって志を立てるプロジェクトと伝え、そのための自己発見と動機付けを行う科目です。講堂講義と、28名程度でのグループワークを交互に行います。グループワークでは、自ら考え、問題を発見し、他者に表現することを通して、コミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを高めます。

### 教養卒論

新しい教養教育ではひとりひとりが自分の目的にあった「学びのストーリー」を描くことが大切。これまでの教養教育で何を学んだのか、またそれは自分の志の実現にどう活きてくるのか、をレポートにまとめます。執筆は、小グループ単位で修士課程の学生のピアレビューにて実施します。

### リーダーシップ道場

仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身に付けています。この科目で身につけた能力は、教養卒論の執筆をピアレビューとしてサポートする科目「ピアレビュー実践」、「東工大立志プロジェクト」のグループワークにファシリテーターとして参加する「リーダーシップアドバンス」など、学士課程学生を指導するなかでさらに高めることができます。

### 越境型教養科目

自らの専門分野に限定されることなく、先端的・学際的な研究動向に目を向け、異分野の研究者と協力して、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造していきます。多様なバックグラウンドを持つメンバーが、英語で少人数グループワーク・発表会などを共に行う中でコミュニケーションの力を養い、また、研究者倫理・行動規範を身につけていきます。

### Humanities and Social Science Courses

### English Language Courses

### Second foreign language Courses

### Wellness Courses

### Japanese Language and Culture Courses

### Teacher Education Courses

### 文系教養科目

人文文学（哲学、文学、文化人類学、芸術学等）・社会科学（法学、政治学、社会学、心理学等）及び、文理融合科目（科学技術論、統計学、意思決定論等）を、斬新な手法で学びます。「東工大の伝説の文系授業」に出会えます。

### 英語科目

英語の必修には、Reading等の四技能を伸ばす科目に加え、TOEFL等を利用する科目があります。Academic Presentationや口頭表現演習（英会話）等多彩な選択科目も用意されています。

### ウェルネス科目

生涯にわたり健康な生活を送るための基本的リテラシーを、生理・心理学、バイオメカニクスを基礎とした講義や、スポーツを中心とした活動・演習を通して身に付けます。

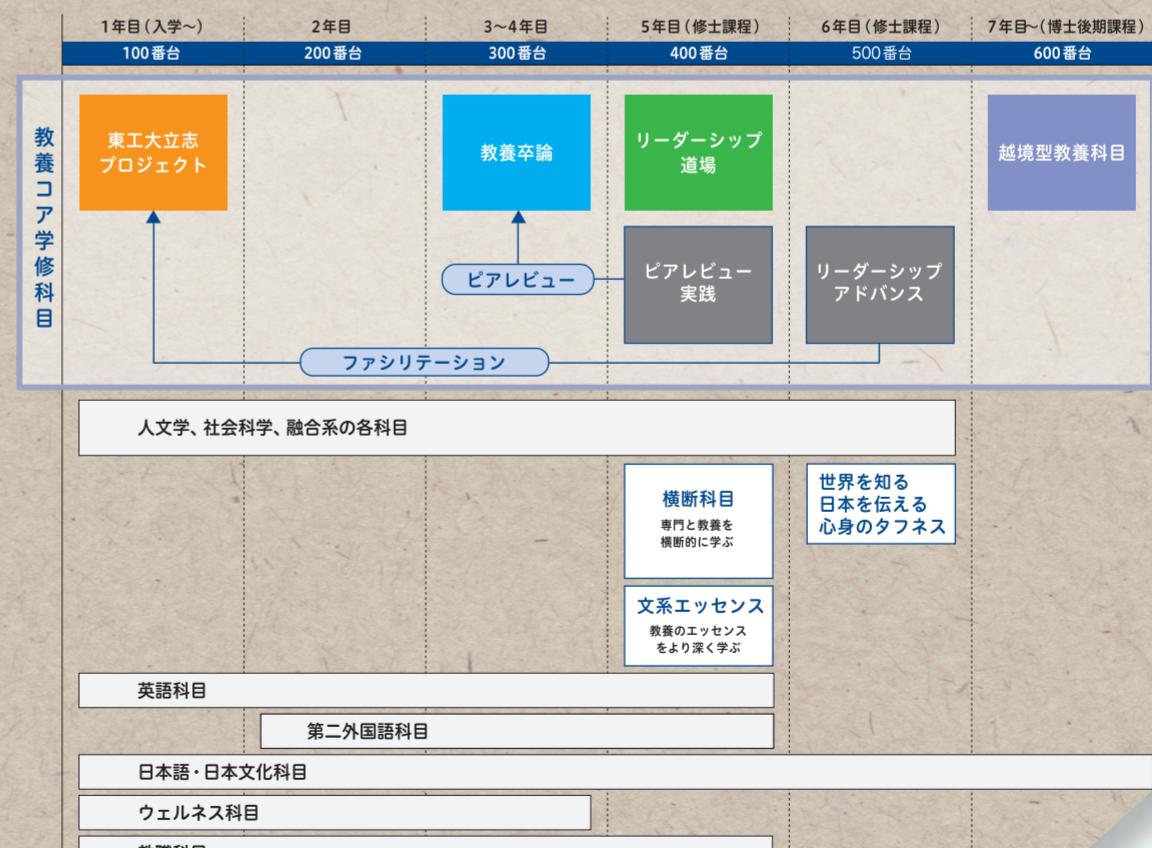
### 日本語・日本文化科目

週5日の集中、週1～2日の初中級の日本語コースではすべてのスキルを総合的に学びます。アニメ、映画等テーマに沿って学ぶテーマ別日本語では日本文化も学べます。

### 教職科目

中学校の数学と理科、高等学校の数学、理科、情報、工業の教員免許状が取得可能です。授業数が増える等容易な道ではありませんが、人を育てる職業を目指しませんか。

## 教養科目の大まかな流れ



\*この大きな円は、おもに教養コア学修科目で活用されている対話促進ツール「えんたくん」をイメージしています  
(左から2枚目の写真参照)